

新規殺菌成分「メチルテトラプロール」にマンゼブを配合！

早く撒けば、長く効く。

新登場！

テンサイ褐斑病防除に

ムケツDX<sup>®</sup>

SDP  
効果<sup>®</sup>

でしっかり防除！

ムケツDXは、早い時期での散布により、  
テンサイ褐斑病に対して  
発病遅延 (Slow Disease Progression) を実現。

## 特長

- 新規殺菌成分「メチルテトラプロール」と、実績のある「マンゼブ」を混合した殺菌剤です。
- 既存薬剤の耐性菌に対しても高い効果を発揮します。\* \*QoI剤、DMI剤耐性菌で確認
- 早めに散布することで優れた残効を發揮し、**発病遅延効果(SDP効果<sup>®</sup>)**を示します。

## 適用病害と使用方法

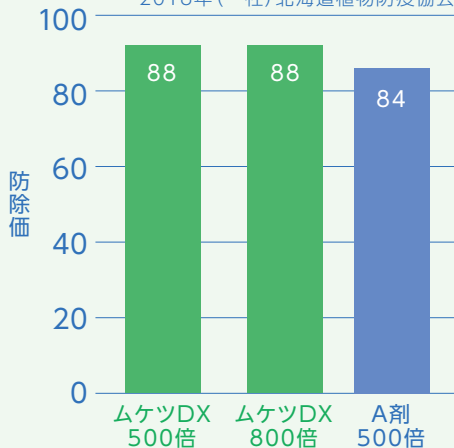
2022年9月現在の登録内容

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	マンゼブを含む農薬の総使用回数	メチルテトラプロールを含む農薬の総使用回数
てんさい	褐斑病	500~800倍	100~300L/10a	収穫21日前まで	3回以内	散布	5回以内	3回以内

## 試験成績

### テンサイ褐斑病に対する効果

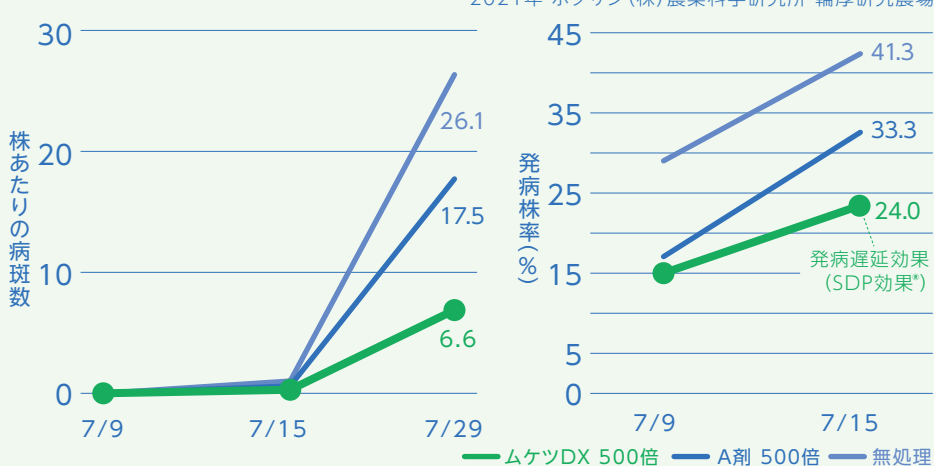
2018年(一社)北海道植物防疫協会



- 品種:ライエン
- 発生状況:甚発生(接種)
- 試験規模:1区11.5m<sup>2</sup> 3連制
- 散布:7/17、27、8/6、18、26、9/4、15の計7回 100L/10aの割合で散布 展着剤グラミンS 5,000倍を加用
- 調査:9/28(最終散布13日後)に各区25株について発病度を調査
- 接種:7/17に各区の最外部1畝に前年度罹病葉の粉碎物を接種
- 移植:4/27
- 無処理の発病度:86.7

### テンサイ褐斑病に対する発病遅延効果

2021年 ホクサン(株)農業科学研究所 輪厚研究農場



- 品種:アンジー
- 発生状況:少発生(接種)、初発は6/29
- 試験規模:1区7.92m<sup>2</sup> 3連制
- 散布:6/22に100L/10aの割合で散布 展着剤グラミンS 10,000倍を加用 散布当日、区の境界株を除いた25~30株の未展開葉にマーカーをつけた
- 調査:各区20~25株について被散布葉(マーカーより外側の葉)の株あたり病斑数、発病株率を調査
- 接種:6/16に前年度罹病葉を粉碎し土壌と混和し、区の境界の畝間に散布
- 移植:5/7

### 使用上の注意事項



- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 散布量は対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせて調節してください。
- 散布液調製後はそのまま放置せず、できるだけ速やかに散布してください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう

- 注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 散布の際は農業用マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用するとともに保護クリームを使用してください。作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触をさけてください。
- 夏期高温時の使用をさけてください。

- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

22.10.10T